

関西支部第11回夏季大学開講のお知らせ

—高層気象と天気予報—

期 日：1989年（平成元年）7月25日（火）～

7月27日（木）

場 所：大阪市天王寺区石ヶ辻町19番12号

なにわ会館（4階 金剛）06-772-1441

（近鉄上本町駅 徒歩3分，地下鉄谷町九丁

目駅 徒歩8分）

受講料：3,000円（テキスト代を含む）

申込方法：住所・氏名・年齢・勤務先・電話番号を明記し現金書留，又は郵便振替で受講料を添えて申し込んで下さい。

受付後受講票をお送りします。

（郵便振替口座 大阪 8-18318 日本気象学会関西支部）

定員 100名（定員に達し次第締切ります）

申込先：〒540 大阪市中央区大手前4丁目1番67号

大阪合同庁舎第2号館

大阪管区気象台内 日本気象学会関西支部

（Tel. 06-941-0341 内線 6145）

申込締切：1989年（平成元年）7月18日（火）

主催：日本気象学会関西支部

後援：大阪府教育委員会，京都府教育委員会，兵庫県教育委員会，奈良県教育委員会，滋賀県教育委員会，和歌山県教育委員会，大阪市教育委員会，大阪管区気象台

	午前（10時00分～12時00分）	午後（13時00分～16時00分）
7月25日 （火）	「大気循環の変動とその予測」 —天気予報の当たり外れを学問する— 余田成男 京都大学理学部助教授 映画「GMS（ひまわり）の全球画像：1987年」 映画「NMC 500mb 高度場の変動」	「高層天気図の見方」 飯島邦彦 大阪管区気象台予報課長
7月26日 （水）	予報実習「高層天気図と予報」 宮崎晴夫 大阪管区気象予報官・松本 武 大阪管区気象台予報官	
7月27日 （木）	「高層の測器及び観測」 村松久史 京都大学防災研究所教授	気象台見学（注）異常気象の場合は中止の場合もあります

編集後記：天気予報の当たらない日はあっても「環境」「温暖化」「フロン」「CO₂」等々のキーワードの登場しない日はない昨今です。会員の方々ならば，問題を冷静に見ておられると思います。

理学と工学（古臭い分類ですが）の分かれ目は「業界」と「学界」の距離とも言えます。遠いのが前者，近いのが後者です。

遠い距離をマスコミ・ジャーナリズムが結びつけると冒頭の様な状況が発生します。

筆者は「業界」の最大手（気象庁のことです）において禄を得ている会員です。日々の生業では「学界」がもっと近くにあればと思うことしばしばです。（学会の望ましい姿と言うことではありません）

編集委員としては「天気」を通じての両者の橋渡しができればと考えております。しかし，未だその任を果たし得ていない状況です。というわけで近いうちにふさわしい方と交代させていただこうと思います。

（TA・KA）